

課題解決型高度医療人材養成プログラム  
「健康長寿に貢献する実践的チーム医療人育成」

平成 29 年度

周術期患者の口腔機能・衛生（口腔ケア）管理  
におけるチーム医療指導者養成プログラム

履 修 概 要



東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科

【1】履修証明プログラム開設科目（120 時間）

授業 科目	授業 形式	時間数
チーム医療概論	講義	6
チーム医療特論	講義	6
隣接医学概論Ⅰ	e-learning	15
隣接医学概論Ⅱ	e-learning	15
隣接医学特論Ⅰ	e-learning	15
隣接医学特論Ⅱ	e-learning	15
周術期口腔保健学特論	講義	20
実技研修※	実習	12
多職種連携実践	実習	10
本プログラム主催の公開シンポジウム・学術研修 出席		6
計		120

※ 実技研修 12h については、各受講者の資格によって、研修内容が異なる。

【2】修了要件

講義や実習等を 120 時間以上履修し、筆記・実技・面接試験に合格または課題提出等を行うこと。

【3】修業年限

2 年

【履修対象者】

歯科衛生士、歯科技工士、看護師、言語聴覚士、管理栄養士等の福祉医療系資格を有する者

# チーム医療概論

## 1. 授業目的と概要

- ・チーム医療において口腔保健分野が果たす役割を理解する。
- ・口腔保健専門職養成教育の変遷と現状を検討する。
- ・口腔機能管理に必要な知識を得る。

## 2. 主な講義場所

口腔保健学科第4講義室

## 3. 授業の到達目標

- ・保健医療福祉サービスの社会的動向を理解する。
- ・口腔保健専門職養成教育の現状と課題を説明する。
- ・周術期における口腔機能管理の重要性を理解する。

## 4. 授業スケジュール

別表のとおり

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

適宜紹介する

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

## 9. 連絡先

荒川 真一 shinperi@tmd.ac.jp

小原 由紀 ohara.pvoh@tmd.ac.jp

中村 奈都美 natsltoh@tmd.ac.jp

### 別表

回数	日時	授業内容	担当教員
1	4/7 19:00~	口腔保健学とは	荒川 真一（生涯口腔保健衛生学分野）
2	5/12 19:00~	口腔保健専門職養成の現状と課題	小原 由紀（口腔健康教育学分野）
3	5/19 18:00~	多職種連携の重要性	古屋 純一（地域・福祉口腔機能管理学分野）
4	5/19 19:00~	周術期における口腔機能管理	中村 奈都美（生涯口腔保健衛生学分野）
5	5/26 18:00~	保健医療福祉サービスの動向	矢澤 正人（新宿区健康部）
6	5/26 19:00~	地域包括ケアの展開	矢澤 正人（新宿区健康部）

# チーム医療特論

## 1. 授業目的と概要

- ・ 歯科衛生過程にもとづく口腔保健活動に関する知識と多職種連携に向けた実践力を身につける。
- ・ チーム医療実践のための教育方法の基本的理論を学習し、臨床実習における展開方法について理解を深める。

## 2. 主な講義場所

口腔保健学科第4講義室

## 3. 授業の到達目標

- ・ 多職種連携の意義と口腔保健専門職が果たす役割を説明する。
- ・ 歯科衛生過程に基づいた介入計画を立案できる。
- ・ 教育技術・教育技法を考慮しながら、臨集実習指導案を作成できる。
- ・ 臨床実習指導のあり方について考察することができる。

## 4. 授業スケジュール

別表のとおり

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

適宜紹介する。

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取るにより、適宜これに対応する。

## 9. 連絡先

小原 由紀 ohara.pvoh@tmd.ac.jp

中村 奈都美 natsltoh@tmd.ac.jp

### 別表

回数	日時	授業内容	担当教員
1	6/9 18:00~	患者講師による講義	山田 裕一 (日興アセットマネジメント株式会社)
2	6/9 19:00~	緩和ケア	本松 裕子 (医学部附属病院看護部)
3	6/30 18:00~	周術期口腔機能管理概論	池上 由美子 (がん・感染症センター都立駒込病院)
4	6/30 19:00~	周術期口腔機能管理演習	池上 由美子 (がん・感染症センター都立駒込病院)
5	8/25 18:00~	歯科衛生教育論	小原 由紀 (口腔健康教育学分野) 中村 奈都美 (生涯口腔保健衛生学分野)
6	9/1 18:00~	実習指導の企画と展開	小原 由紀 (口腔健康教育学分野) 中村 奈都美 (生涯口腔保健衛生学分野)

# 隣接医学概論 I

## 1. 授業目的と概要

- ・基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得する。

## 2. 主な講義場所

e-learning による学習

## 3. 授業の到達目標

- ・高齢者の健康評価法について学び、高齢者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・呼吸器疾患について学び、呼吸器疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・消化器疾患について学び、消化器疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・肝胆膵疾患について学び、肝胆膵疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・神経疾患について学び、神経変性疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・腎臓疾患について学び、腎臓疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・血液疾患について学び、神経変性疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・膠原病について学び、膠原病患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・循環器疾患について学び、循環器疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・代謝性疾患について学び、代謝性疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・内分泌疾患について学び、内分泌患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。

## 4. 授業スケジュール

e-learning システムにより、各自で別表の講義を聴講する。

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

特になし

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

## 9. 連絡先

荒川 真一 shinperi@tmd.ac.jp

### 別表

回数	授業内容	開催場所	担当教員
1	内科 1 高齢者の健康評価、老年症候群	e-learning による受講	下門 顯太郎
2	内科 2 呼吸器疾患	e-learning による受講	土屋 公威
3	内科 3 消化器疾患	e-learning による受講	中村 哲也
4	内科 4 肝・胆・膵疾患	e-learning による受講	新田 沙由梨
5	内科 5 神経疾患	e-learning による受講	赤座 実穂
6	内科 6 腎臓内科疾患	e-learning による受講	高橋 大栄
7	内科 7 血液疾患	e-learning による受講	山本 正英
8	内科 8 膠原病・リウマチ	e-learning による受講	木村 直樹
9	内科 9 循環器疾患①	e-learning による受講	前嶋 泰浩
10	内科 10 循環器疾患②	e-learning による受講	川端 美穂子
11	内科 11 代謝性疾患	e-learning による受講	坊内 良太郎
12	内科 12 内分泌疾患	e-learning による受講	吉本 貴宣



# 隣接医学概論Ⅱ

## 1. 授業目的と概要

- ・基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得する。

## 2. 主な講義場所

e-learning による学習

## 3. 授業の到達目標

- ・脳神経外科疾患について学び、脳神経外科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・消化器系外科疾患について学び、消化器系外科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・肝胆膵外科疾患について学び、肝胆膵外科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・乳腺外科疾患について学び、乳腺外科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・大腸肛門外科疾患について学び、大腸肛門外科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・整形外科疾患について学び、整形外科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・産婦人科疾患および妊娠・出産について学び、産婦人科疾患患者および妊産婦に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・精神科疾患について学び、精神科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。

## 4. 授業スケジュール

e-learning システムにより、各自で別表の講義を聴講する。

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

特になし

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

## 9. 連絡先

荒川 真一 shinperi@tmd.ac.jp

### 別表

回数	授業内容	開催場所	担当教員
1	外科 1 脳外科疾患	e-learning による受講	稲次 基希
2	外科 2 食道・胃外科	e-learning による受講	川田 研郎
3	外科 3 肝胆膵外科	e-learning による受講	落合 高德
4	外科 4 乳腺外科	e-learning による受講	小田 剛史
5	外科 5 大腸・肛門外科	e-learning による受講	石黒 めぐみ
6	外科 6 整形外科①	e-learning による受講	吉井 俊貴
7	外科 7 整形外科②	e-learning による受講	片桐 洋樹
8	婦人科 1 性感染症、避妊	e-learning による受講	増田 美香子
9	婦人科 2 妊娠、出産、 胎児の成長・発達、不妊治療	e-learning による受講	増田 美香子
10	婦人科 3 婦人科疾患	e-learning による受講	若菜 公雄
11	精神科 1 精神化疾患	e-learning による受講	西川 徹
12	精神科 2 認知症	e-learning による受講	車地 暁生

# 隣接医学特論 I

## 1. 授業目的と概要

- ・基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得する。

## 2. 主な講義場所

E-learning による学習

## 3. 授業の到達目標

- ・小児科疾患について学び、小児患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・皮膚科疾患について学び、皮膚科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・耳鼻咽喉科疾患について学び、耳鼻咽喉科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・眼科疾患について学び、眼科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・腎泌尿器科疾患について学び、腎泌尿器科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・頭頸部外科疾患について学び、頭頸部外科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・リハビリテーション医学について学び、リハビリテーションが必要な患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。

## 4. 授業スケジュール

E-learning システムにより、各自で別表の講義を聴講する。

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

特になし

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることにより、適宜これに対応する。

## 9. 連絡先

荒川 真一 shinperi@tmd.ac.jp

別表

回数	授業内容	開催場所	担当教員
1	小児科 1	e-learning による受講	滝 敦子
2	小児科 2	e-learning による受講	柳町 昌克
3	皮膚科疾患 1	e-learning による受講	並木 剛
4	皮膚科疾患 2	e-learning による受講	並木 剛
5	耳鼻咽喉科疾患	e-learning による受講	堤 剛
6	眼科疾患 1	e-learning による受講	篠原 宏成
7	眼科疾患 2	e-learning による受講	横井 多恵
8	腎泌尿器科疾患 1	e-learning による受講	井上 雅晴
9	腎泌尿器科疾患 2	e-learning による受講	井上 雅晴
10	頭頸部外科学 1	e-learning による受講	朝蔭 孝宏
11	リハビリテーション医学	e-learning による受講	神野 哲也

※都合により順序が変更になる場合があります。

# 隣接医学特論Ⅱ

## 1. 授業目的と概要

- ・基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得する。

## 2. 主な講義場所

E-learning による学習

## 3. 授業の到達目標

- ・スポーツ関連外傷・障害・疾患について学び、それらの患者に対して適切な口腔ケアを検討できる。
- ・救急災害医学について学び、被災者に対する災害フェーズに適した口腔ケアを検討できる。
- ・緩和医療・緩和ケア・心療医療について学び、患者の心身を支えつつ QOL を向上させるために、適切な口腔ケアを検討できる。
- ・遺伝性疾患、染色体異常および遺伝カウンセリングについて学び、それらの患者の心情に配慮して、適切な口腔ケアを検討できる。
- ・泌尿器科疾患について学び、泌尿器科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・リハビリテーション医学について学び、リハビリテーションが必要な患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・感染の成り立ちおよび感染対策について学び、有病者に対して感染対策に配慮した口腔ケアを検討できる。また、感染症患者および易感染患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。
- ・臨床医学を学び、基礎疾患をもつ患者に対して継続的な口腔ケアを提供するための多職種連携と協働を検討する。

## 4. 授業スケジュール

E-learning システムにより、各自で別表の講義を聴講する。

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

特になし

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

## 9. 連絡先

荒川 真一 shinperi@tmd.ac.jp

### 別表

回数	授業内容	開催場所	担当教員
1	スポーツ歯学 1	e-learning による受講	井上 雅晴
2	救急医療	e-learning による受講	植木 穰
3	頭頸部外科学 2	e-learning による受講	朝蔭 孝宏
4	緩和医療・緩和ケア	e-learning による受講	三宅 智
5	心療・緩和医療	e-learning による受講	宮島 美穂
6	遺伝性疾患、染色体異常、遺伝カウンセリング	e-learning による受講	吉田 雅幸 江花 有亮
7	スポーツ関連の外傷	e-learning による受講	柳下 和慶
8	スポーツ歯学 2	e-learning による受講	上野 俊明
9	緩和医療・緩和ケア	e-learning による受講	三宅 智
10	感染性疾患 1	e-learning による受講	貫井 陽子
11	感染性疾患 2	e-learning による受講	貫井 陽子

※都合により順序が変更になる場合があります。

# 周術期口腔保健学特論

## 1. 授業目的と概要

様々な病態を呈するがん等の診断・治療方法を理解することによって、周術期口腔機能管理に関連した専門的知識を修得する。

## 2. 主な講義場所

本学講義室および演習室、一部 e-learning での振替受講可とする。

## 3. 授業の到達目標

- ・周術期において特徴的にみられる病態および症状を説明できる。
- ・がん治療における多職種連携の重要性を説明できる。
- ・周術期口腔機能管理の意義目的を説明できる。
- ・周術期の特徴から影響を受けて生じる口腔保健上の課題を見出し、それに対応した歯科衛生介入方法を検討することができる。

## 4. 授業スケジュール

がん治療に関する講習会・研修会（次世代がん治療推進専門家養成プラン、緩和ケア勉強会、キャンサーボード等）を、20 時間以上履修する。

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

特になし

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

## 9. 連絡先

荒川 真一 shinperi@tmd.ac.jp

小原 由紀 ohara.pvoh@tmd.ac.jp

中村 奈都美 natsltoh@tmd.ac.jp

# 実技研修

## 1. 授業目的と概要

周術期患者における身体・精神諸機能の変化や疾病の特徴を理解し、口腔機能の維持向上に必要な口腔機能管理の技術を習得する。

## 2. 主な講義場所

口腔保健学科講義室、セミナー室、臨床基礎実習室、相互実習室

## 3. 授業の到達目標

- ・周術期患者の特徴、心理状態を説明できる。
- ・計測したバイタルサインの結果を解釈し、歯科衛生計画を立案できる。
- ・周術期口腔機能管理に必要なアセスメント項目を説明できる。
- ・周術期口腔機能管理における留意点を説明できる。
- ・周術期口腔機能管理を担う後進育成を实践できる。

## 4. 授業スケジュール

別表のとおり

## 5. 成績評価の方法

授業の参加状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 6. 準備学習についての具体的な指示

特になし

## 7. 参考書

適宜紹介する。

## 8. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることにより、適宜これに対応する。



## 9. 連絡先

小原 由紀 ohara.pvoh@tmd.ac.jp

安田 昌代 yasuda.ocsh@tmd.ac.jp

中村 奈都美 natsltoh@tmd.ac.jp

### 別表

回数	日時	授業内容	担当教員
1-2	7/7 18:00~20:00	バイタルサイン	宮本 智行 (麻酔・生体管理学分野)
3-4	7/14 18:00~20:00	BLS (Basic Life Support)	宮本 智行 (麻酔・生体管理学分野)
5-6	8/4 18:00~20:00	口腔機能管理に必要なアセスメント	小原 由紀 (口腔健康教育学分野)
7-12	8/25 19:00~ 9/1 19:00~ 9/8 18:00~20:00	シミュレーターによる口腔ケア実習 (相互実習)	小原 由紀 (口腔健康教育学分野) 安田 昌代 (歯学部附属病院口腔ケア外来) 中村 奈都美 (生涯口腔保健衛生学分野)

※実習時には、白衣・実習ユニフォームを着用すること。

# 多職種連携実践

## 1. 目的と概要

本学医学部附属病院および歯学部附属病院でのチーム医療の臨床見学ならびに症例検討会への参加により、口腔機能管理、歯科衛生ケアの領域における指導能力を修得する。

## 2. 到達目標

- ・入院患者の疾病と生活上の問題点を概説できる。
- ・附属病院におけるチーム医療の実際を知り、連携方法を説明できる。
- ・チーム医療実践のために身につけるべき知識、技術とは何かを説明できる。

## 3. スケジュール

履修生および実習受け入れ先のスケジュールを調整のうえ、実施する。

## 4. 成績評価の方法

出席状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 5. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

## 6. 連絡先

荒川 真一 [shinperi@tmd.ac.jp](mailto:shinperi@tmd.ac.jp)

小原 由紀 [ohara.pvoh@tmd.ac.jp](mailto:ohara.pvoh@tmd.ac.jp)

中村 奈都美 [natsltoh@tmd.ac.jp](mailto:natsltoh@tmd.ac.jp)

# 公開シンポジウム・学術研修 出席

## 1. 目的と概要

実践経験が豊富で高い知識・技術力を持った有識者等による講演、多職種が参加する学術集会等に出席、参加することにより、口腔衛生（口腔ケア）管理ができるように学生（歯科衛生士）を指導できる知識・技術力を修得する。

## 2. 到達目標

- ・多職種連携における口腔保健専門職の役割を説明できる。
- ・口腔衛生（口腔ケア）管理に必要な専門知識・技術を説明できる。

## 3. スケジュール

履修生のそれぞれのスケジュールにあわせて、各自で履修する。

### 【例】

- ・日本歯科衛生学会
- ・日本歯科衛生教育学会
- ・日本歯科医学教育学会
- ・日本歯科医療管理学会
- ・日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会学術研修会
- ・東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科同窓会
- ・東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E.

## 4. 成績評価の方法

出席状況と課題の提出状況および内容に基づいて総合的に評価を行う。

## 5. オフィスアワー

授業内容の問い合わせについては、担当教員に電子メール等で事前に連絡を取ることであり、適宜これに対応する。

## 6. 連絡先

荒川 真一 shinperi@tmd.ac.jp

小原 由紀 ohara.pvoh@tmd.ac.jp

中村 奈都美 natsltoh@tmd.ac.jp